

香川県

土庄町

みんなで創る、
持続可能な島の
未来



人口 12,384 人 面積 74.38 km²

都市の特徴

香川県の小豆島の西部にある港町。400年以上の歴史を持つ素麺や醤油をはじめ、佃煮・ごま油、石材やオリーブ・オリーブ製品が有名であるほか、漁業が盛んである。

土庄町

TONOSHO TOWN

課題・背景

高校卒業後約9割の学生が島外へ流出することや、UIJターン者が定着しないことなどにより、人口減少・少子高齢化が進んでいる。それにより、観光産業をはじめとした担い手不足が生じている。

施策の方向

地域の潜在力を引き出し、地方創生と観光産業の競争力向上に資する施策を提案・実現できる専門家の支援のもと、地域のコンセプトづくり、誘客の核となる宿泊施設、域外投資を呼び込む仕組みを検討する。これらを検討し、実行に移すことで、地域経済の活性化と持続可能な観光振興を実現する。

01 地域資源の魅力を最大化させる コンセプトの検討

専門家によるマーケット分析と現地調査に基づき、地域の多様な資源を戦略的に整理・評価することで、その潜在力を引き出すコンセプトを策定する。これにより、地域固有の文化や自然環境を生かした独自性の高い観光ブランド構築を図る。

観光ブランドを構築
地域資源を活かし



02 誘客の核となる宿泊施設像・ 域外投資を呼び込むスキームの検討

宿泊施設について、島内外のニーズ・課題の分析と将来像を整理し、求められる機能や独自価値を明確化する。また、域外からの投資を呼び込む先進事例の調査や開発スキームの検討により、高付加価値な宿泊体験と地域ブランドの連携による差別化を図る。

専門家と一緒に議論



Interview

インタビュー

土庄町商工観光課
課長

蓮池 幹生 さん

立花さんはマーケット分析や現地調査を通じて地域の潜在力を引き出す戦略策定や、地域文化・自然環境を活かしたブランド構築において高い実績があります。これらの経験から、当町の魅力を最大限に引き出してくれると考えます。

株式会社アクアイグニス
代表取締役

立花 哲也 さん

老朽化が進む島内の宿泊施設は観光産業の競争力低下を招いており、早急な立て直しが必要です。民間の実行力と自治体の公的役割を組み合わせた協働関係で土庄町の魅力を引き出したまちづくりを目指します。



(右)土庄町商工観光課 課長
蓮池 幹生 さん

(左)株式会社アクアイグニス 代表取締役
立花 哲也 さん

今後の展望

将来的には、地域資源を最大限に活用し、国内外から人々を惹きつける多様な魅力を持つ観光地を目指す。そのために、まずマーケット分析と地域資源の整理を行い、専門家による調査を通じて資源の活用方法を明確化する。これにより、「歴史・文化」「自然景観」「伝統産業」などのコンセプトを設定し、地域全体でブランドイメージと情報発信を強化し、持続可能な観光モデルの確立を図る。

パワースポットとして
注目される重岩

